

JSBN キャリア教育プロジェクトの実施報告

令和4年度の10月中旬に本校生徒会執行部の外務を務めている坂本怜菜さんがNPO法人JSBNへ送信した一通のメールから、このイベントはスタートしました。そのメールからの熱意を一心に汲み取り返信して、イベントの準備や進行をサポートしてくださったJSBNの方や「こんなイベントを開催したい」という言葉に賛同して最後まで突き進んできた古川高校のプロジェクトメンバー達、そしてこのイベントを開催するにあたって準備やサポートをしてくださった本校の先生方と公立高校の高校生がイベントを開催するにあたり、一番の壁となる金銭面での扶助をしてくださいました古川高校同窓会会長である伊藤様をはじめ、同窓会の皆様。あらゆる方面からのお力添えを頂き、このイベントを開催するに至りましたこと、この場をお借りしまして再度、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

我々、古川高校プロジェクトメンバー13名は、上記にあります皆様の助けを受けながらイベントを作成してきました。11月の中旬からイベント運営のミーティングが週に1回というペースになり本格的に始動する形となりました。

【現状の問題】

【こうあって欲しい理想の姿】

【課題点】

【イベント目標】

【コンセプト】

【コンテンツ】

【その他詳細事項】

上から順番に毎週土曜日のミーティングで話し合っていました。

前日の夜にミーティングのためのミーティングをしたりしていた時もあります、プロジェクトメンバー全員が持てる才能を全て使いタスク形式で作成しました。



【1/28 基調講演】

1月28日にはJSBN代表の真坂淳さんに古川高校にお越しいただき、基調講演をして貰いました。

いつにもないほど質疑応答の時に手を挙げる人が多くて生徒会執行部の全員が口をそろえて驚いていました。

それほど、古川高校の生徒に寄り添ってお話をしてきていたのだろうと実感しました。

基調演後に新たに当時1年生2名、2年生2名の慶4名が自らプロジェクトメンバーに立候補してくれて2月上旬から13人体制で活動してきました。臨機応変に誰が何をするかに分かれてポスター制作、企画書政策、事前課題制作など少しでもイベントを良いものにするため、古高生のために本気になって頑張りました。



当日の人集めのために行った生徒へのプレゼンは実りあるものになりました。参加者は任意での参加であった為、当時4人しか参加希望者がいませんでした。藁にも縋る想いで生徒に我々の熱意を伝えたところ...なんと大成功!!! 4人が約100人に増えたのです。もはや、ドラマか?というレベルの感動でした。

そして迎えた当日。我々プロジェクトメンバーは失敗してしまうのではないだろうか、上手くいくのだろうかという不安感をもっていました。ですが、一緒に進んできた仲間同士でここまで準備したのだから大丈夫!と励まし合っている姿が見られて仲間が偉大な存在だと感じました。

結果から言うとイベントは...

大々大成功でした!



参加した生徒全員が開会式と閉会式で表情が大きく変化していました。皆ニコニコしながらもどこか決意を固めたような顔つきで本当にこのイベントをやってよかったと心の底から言えるイベントでした。行動宣言では20人近い人が自分から誰に言われるでもなく発表していて、それに感動して涙を浮かべている方もいました。

このイベントは、古川高校の流れを大きく変えたと思います。誰が欠けてもこの素晴らしい企画にはならなかったことでしょう。この古川高校の1ページはとてつもなく大きな一歩です。ぜひ、JSBNの素晴らしい経験豊富な社会人の方々と古川高校との関係をいつまでもどこまでも一歩一歩踏み出していける、そんなかけがえのないものになっていくことを初代JSBN×古川高校プロジェクトメンバー一同切に願っています。古川高校の生徒の1歩が日本のそして、世界の1歩になることを！！

踏み出せ！はじめの一歩！



jsbn



古川高校